

情報活用能力の育成

I 研究の内容

社会の情報化は急速に進展しており、児童生徒が「情報活用能力」を身に付け、情報化社会に対応できる力をえていく必要性は、ますます高まってきている。学校教育の中で、効果的に情報コミュニケーション技術（ICT）を活用することにより、児童生徒の学習に対する興味・関心を高め、学びに向かう力や思考力、判断力、表現力等を育む教育活動の実現が求められている。

そこで本部会では、児童生徒の情報活用能力や教師のICT活用を含めた指導力を高めるための研究を、これまでの研究成果と課題をふまえ、継続する形で進めていく。また、情報化社会において適正な行動をするための基になる考え方や態度（情報モラル）の教育についても研究を進める。

1 研究の方法

- (1) 部会のテーマ「情報活用能力を高める研究」に沿った授業実践について研究し、研究協議を行う。
- (2) ICT機器に対する知識やスキル、また情報モラル等への意識を高める。
- (3) 情報活用能力や指導力を高めるための研修を行う。

2 研究の具体的内容

- (1) 授業研究（8月30日、2月7日）

小学校 第5学年 社会科 これからの食料生産 「輸入される食料」

中学校 第2学年 学級活動「あたりまえ」の「ちがい」について考えよう

- (2) ICTを活用した指導の工夫

ア edutab（協調学習支援システム）及びiPad, AppleTVの活用

授業に効果的な情報機器の利用とその活用方法に主眼を置き、授業実践を行った。edutab（協調学習支援システム）を用いることで、グループの考えを大型TVに表示し、児童の思考を可視化することで多様な考えに触れられる機会を設定した。複数の子供達がお互いにコミュニケーションをとりながら学び合うことができ、出された意見を比較・検討することができた。さらに、edutabの記録機能を用いることで授業の振り返りや分析、児童の評価にも効果的に使うことができた。

イ Windows PC（デジタル教科書、PowerPoint、スライド教材等のデジタル教材）の活用

資料や教材を提示する際に使用した。デジタル教科書やPowerPointのアニメーション機能を用い、グラフの変化のしかたを予想させたり、提示する写真の一部を隠して提示し、周辺の様子を予想させたりといった工夫を行った。

また、スライド教材を用い、情報モラル（コミュニケーションの方法）についての子供達の思考、判断の助長につなげるための工夫を行った。

(3) 検証方法

- ア ノート，ワークシート，タブレット端末への書き込み
- イ 教師の見取り（児童の活動のようす，視点，発言）
- ウ 成果物の検証・分析
- エ 児童の振り返り，感想

【授業づくりの視点】

- 協働的・対話的な学習 ○言語活動の充実 →思考力，判断力，表現力の向上
- タブレット端末の活用←同期型 CSCL による記載内容の可視化…対話の活性化に
- PowerPoint，デジタル教材（スライド）の活用…児童生徒の思考，判断の助長として

II 成果と課題

1 成果

授業の中で ICT 機器を利用することにより，児童生徒に有効に情報を提供でき，主体的な学びにつなげることができるとともに，思考力・判断力・表現力を高めるツールとして有効な手段にもなることが再検証できた。また，edutab（協調学習支援システム）と iPad，スライド教材等の ICT 機器を活用することで，班や個人の意見を集約したり，比較・検討したりすることが遅滞なくでき，学習問題の理解がスムーズにできるなど，児童生徒が学びを深めていくために有効であった。

ICT 機器の活用については，ICT 機器をメインとするのではなく，教育活動の中での有効な利用（活用）を検証することができた。また，情報モラル教育については，中学校現場での生徒の実態に基づいた SNS 等の利用についての授業を通して，生徒はもとより，教師も学び合える研究となり，有意義であった。

学習会や情報交換では，ICT 機器の最新事情や有効な利用法等の学習，授業に役立つアプリやプログラミング学習ソフト等の紹介など，有意義な取組ができた。

2 課題

PCでの文字入力等の習得，プログラミング的思考の育成など，今日的な課題である情報活用能力についても研究していく必要がある。プログラミング学習や情報モラル等について，専門的な外部講師による研修会を開くなどして，知識を得るとともに学習を深めていくことも大切である。

情報モラル教育については，問題が深刻化している現状への対応が課題である。情報化社会を生きていく児童生徒のために，少しでも先を見据え，知識・活用力・モラル等を育成する授業を提供していけるとよい。

III 研究の成果物

小学校 第5学年 社会科 学習指導案 単元名『これからの食料生産』

中学校 第2学年 学級活動 学習指導案

主題名『「あたりまえ」の「ちがい」について考えよう』

（部長 堀井 勝彦）